

若狭湾沿岸における津波堆積物に関する追加調査の結果について

平成24年6月21日
関西電力株式会社
日本原子力発電株式会社
独立行政法人日本原子力研究開発機構

関西電力株式会社、日本原子力発電株式会社、独立行政法人日本原子力研究開発機構の3社は、平成24年2月17日から久々子湖（くぐしこ）東方陸域や猪ヶ池（いのがいけ）内において津波堆積物の追加調査を実施していましたが、この度、津波堆積物の追加調査結果（天正地震）がまとまったため、本日、評価結果を原子力安全・保安院に報告しました。

今後も引き続き、津波堆積物調査の評価を実施し、10月末頃に結果を報告する予定です。

以上

添付資料：若狭湾沿岸における津波堆積物の追加調査の概要

若狭湾沿岸における津波堆積物の追加調査の概要

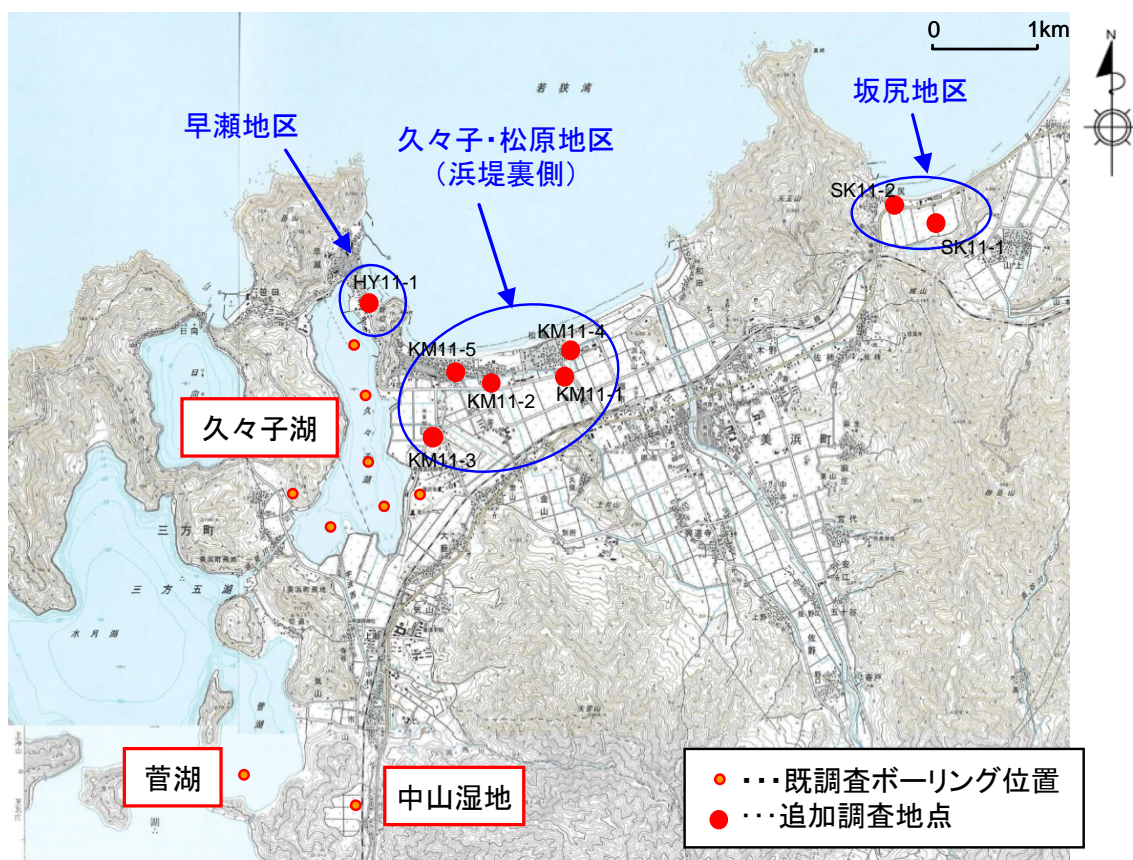
1. 調査概要

場 所：久々子湖東方陸域（早瀬地区1箇所、久々子・松原地区5箇所、坂尻地区2箇所）および猪ヶ池内（6箇所）

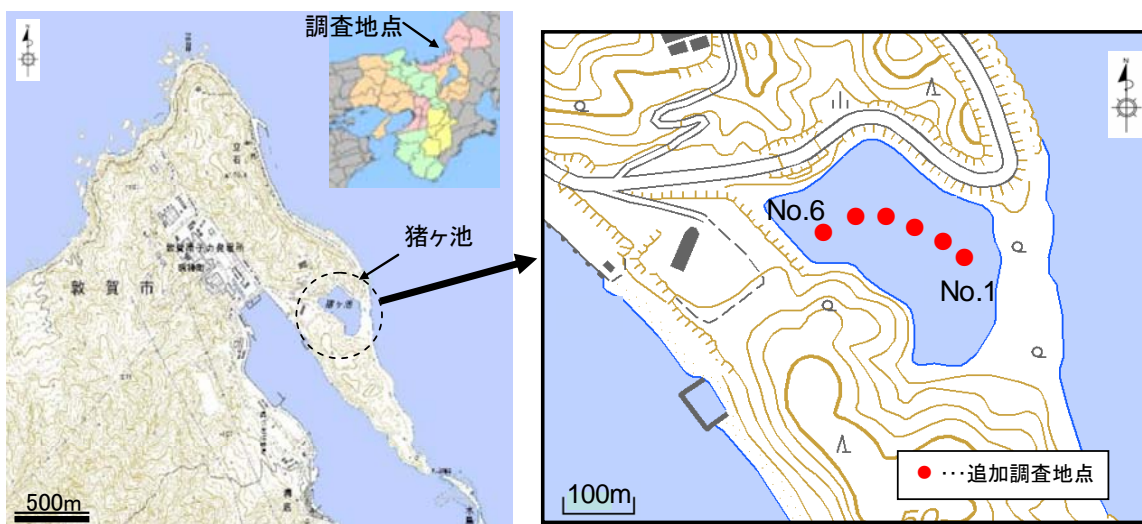
方 法：ボーリング調査

調査箇所：久々子湖東方陸域・・関西電力株、(独) 日本原子力研究開発機構
猪ヶ池・・日本原子力発電株

【久々子湖東方陸域】



【猪ヶ池】



2. コア分析方法および結果

(1) 久々子湖東方陸域

- 久々子湖東方陸域の8箇所のコアについて、肉眼観察と炭素年代測定を行った結果、5箇所（SK11-1、SK11-2、KM11-1、KM11-2、HY11-1）において、天正年間を含む可能性がある地層に粘土やシルトが含まれていることから津波堆積物の有無を判別できると判断した。
- これら5箇所について、X線CTスキャンを併用して、詳細な解析を実施した結果、天正年間を含む可能性がある地層のうち3箇所（SK11-2、KM11-2、HY11-1）については、津波堆積物の指標となり得る砂層は認められなかった。
なお、残りの2箇所（SK11-1、KM11-1）については、耕作土であった。
- またこれら3箇所（SK11-2、KM11-2、HY11-1）について微化石分析等を実施した結果SK11-2、HY11-1は、僅かに海水性珪藻が認められるが、淡水性珪藻がそのほとんどを占めていた。またKM11-2は海水性珪藻が認められず、淡水性珪藻のみが認められた。有孔虫、貝形虫、ウニは、SK11-2、KM11-2、HY11-1いずれにも認められなかった。

(2) 猪ヶ池

- 猪ヶ池の6箇所のコアについては、肉眼観察と炭素年代測定を行った結果、天正年間を含む可能性がある地層は、全箇所において主に腐植層からなり、津波堆積物の有無を判別できると判断した。
- これら6箇所についてX線CTスキャンで詳細な解析を実施した結果、天正年間を含む可能性のある地層には津波堆積物の指標となり得る砂層は認められなかった。
- またこれら6箇所について微化石分析等を実施した結果、天正年間を含む可能性のある地層では有孔虫、貝形虫、ウニは全く含まれず、一部で僅かに海水性珪藻が認められるが、淡水性珪藻がそのほとんどを占めていた。

地点		天正年間を含む可能性のある層の分布範囲	津波堆積物の指標となり得る砂層の有無	微化石分析等の結果			
				有孔虫	貝形虫	ウニ	海水性珪藻
坂尻地区	SK11-2	深度130cm～165cm付近	認められない	無	無	無	微量(淡水性が優勢)
早瀬・久々子・松原地区	KM11-2	深度0cm～95cm付近	認められない	無	無	無	無
	HY11-1	深度285cm～295cm付近	認められない	無	無	無	微量(淡水性が優勢)
猪ヶ池	No.1	深度0cm～25cm付近	認められない	無	無	無	無
	No.2、4	深度0cm～45cm付近	認められない	無	無	無	無
	No.3	深度0cm～20cm付近	認められない	無	無	無	無
	No.5、6	深度0cm～45cm付近	認められない	無	無	無	微量(淡水性が優勢)

3. 評価

追加調査の結果、津波堆積物の指標となり得る砂層がないことや、微化石分析等を行った結果、古文書に記載されているような大規模な津波を示唆する痕跡はないと考えられ、「古文書に記載されているような天正地震による大規模な津波を示唆するものは無いと考えられる」とする従来の評価を覆すものではないと判断している。